

【米田地区・11名】

Q 山林の境界線は、令和5年度に調査し終わるのか。

A 境界の明確化につきましては、令和2年度から順次進めており、完成にはしばらくの期間が必要となります。それとは別に、令和3年度から、上空からのレーザー測量を行って大まかな山林の境界線や地形、樹種とその材積を調査しております。令和5年度中の完成を見込んでいます。

Q 水害で、河川の中に雑木が倒れこんで流れをせき止め、被害が発生しているようなので、撤去を早急に行うよう県に要望してほしい。

A 場所は把握しておりますので、担当者と状況を再度調査し、引き続き県へ報告・対応を要望いたします。

Q 農地（田）の貸し借りについて。

A 農業者の高齢化等もあって、近年は担い手側の受け入れが難しくなっております。地元で担い手をお願いできないものかとの要望も多い中で、いずれ耕作放棄地とならないよう、賃借双方の調整を図ります。

Q この地域にも空き家となっている住宅がある。老朽化が進んだ場合の解体費の助成は。

A 現在、空き家調査を実施しており、状態によって特定空き家などの設定、ランク付けや、合わせて解体費の助成等、次年度以降協議を進める予定としております。特定空き家については、行政代執行が可能ではありますが、所有者相続などの大きな問題がありますので、そういった内容についても検討を行います。

Q 町として、移住希望者等に対して空地や空き家を斡旋する、賃貸契約を結ぶなどの取り組みは。

A 町としてはあくまでも、インターネット上に窓口を設けて、希望者の住宅情報を掲載する、要望があれば案内するといった程度で、契約等に関しては、所有者と買い主、借り主によるものであると認識しております。

Q 民有林の所有者が、管理できないので町に寄付したいと申し入れた場合、寄付することはできないか。

A 民有林の寄付は受け付けておりません。なお、管理されなくなった民有林は全国的にも問題となっており、その取扱い等につきましては、国に一元的に法律等で定めていただく必要があるものと考えております。

Q 来年度で、白神山世界自然遺産登録30周年を迎えるが、町の取り組みについて伺いたい。

A 25周年の時と同様に、春にはマラソンをメインにしたイベントを、秋には紅葉の時期にあわせた、白神山に関する有識者による講演イベントなどを計画中です。その他に、秋田県と青森県の関係市町村で組織する、環白神エコツーリズム協議会との共同事業を検討しております。また、民間からも協力したいとの声があるようですので、今年度中に計画をまとめるよう進めております。

Q 林道の側溝を土砂等が塞ぎ、沢水入はあるものと考え、定期的な土砂の除去が行えれば、被害が甚大になることは少ないのでは。

A 白神山地を特別に国立公園等に準じるエリアとして認定いただき、支援が受けられるよう国の担当部局に対して要望しております。そういった条件がそろえば、林道管理者と併用協定を結び、維持管理を町が担うことも可能となると考えております。

Q 最近はキャンプがブームとなつていくようだが、町の状況はどうか。

A 素波里キャンプ場の利用も増えており、また、湯の沢地区にもエリ

アを設けておりますが、そちらを利用する方もいらつしやるようです。

Q 旧米田橋の今後の取り扱い。

A 以前は解体に向けて準備しておりましたが、上水道管の移設費用、路線バスのルート変更に伴う下根城地区の道路改良など、大幅な負担が想定されることから、現在は方針を転換して、大規模な改修を実施して安全を確保し、継続して利用する予定としております。

Q ツキノワグマとニホンザルの被害が大変問題となっている。対策は。

A ツキノワグマに関しては細やかな見回りと檻による捕獲が一番だと考えております。ニホンザルに関しては、大きな囲い罠による捕獲を目指しているところです。ツキノワグマは9月16日までに21頭を捕獲していますが、その後、被害や目撃情報はありません。

【藤琴地区・3名】

Q コロナ感染者への支援は。

A 秋田県では、近隣からの支援等が行っております。藤里町では同様の支援は実施しておりませんが、自宅待機期間